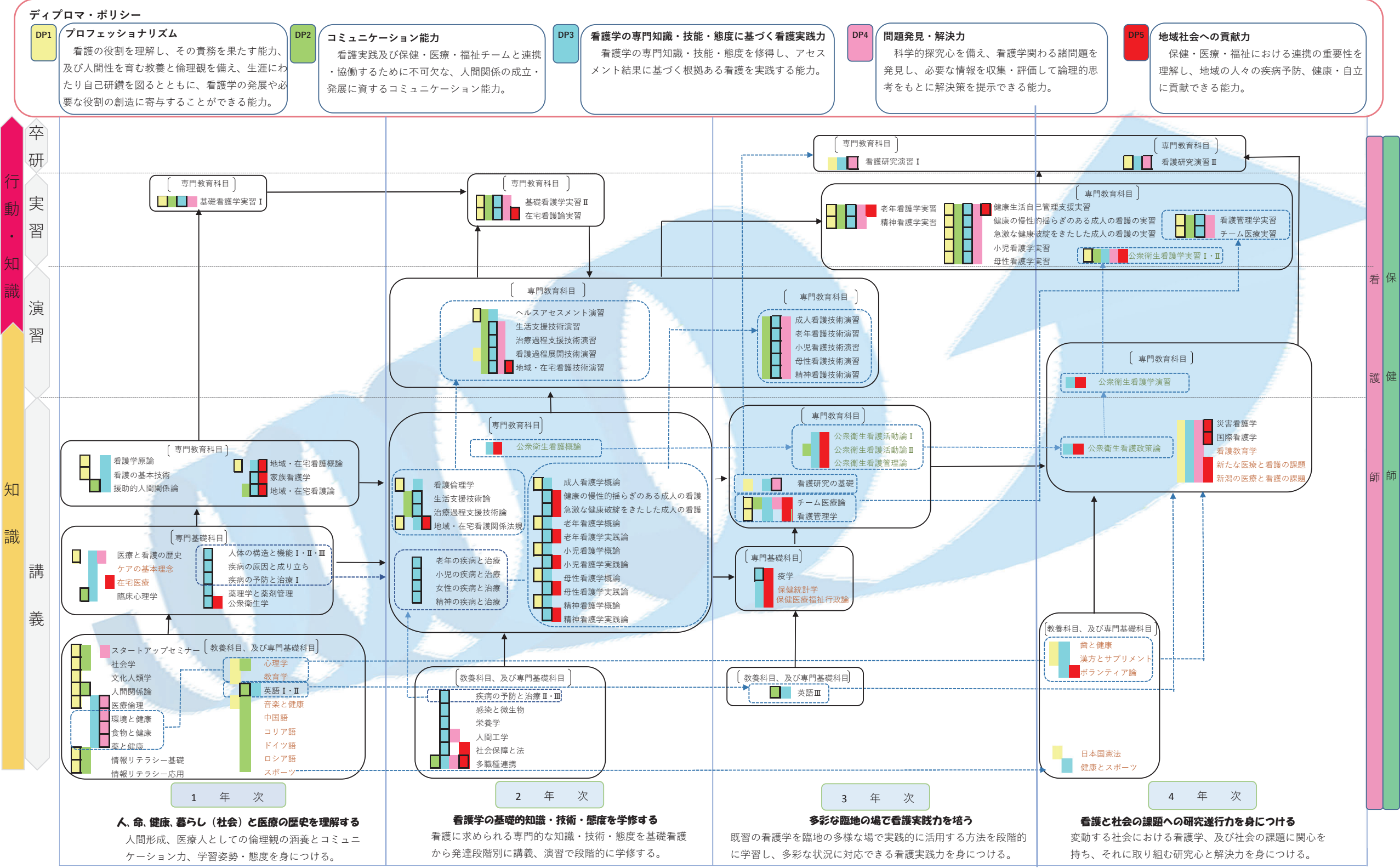


看護学部カリキュラムマップ（授業科目ごと）

□：必修科目 ■：選択科目 ※：保健師課程必修科目 ○DP達成に特に重要な科目 ○DP達成に重要な科目

科目区分	配当年次	授業科目	身につける能力と資質（DP）	プロフェッショナルリズム	コミュニケーション能力	看護学の知識・技能・態度に基づく看護実践能力	問題発見・解決力	地域社会への貢献力
			看護の役割を理解し、その責務を果たす能力、及び人間性を育む教養と倫理観を備え、生涯にわたり自己研鑽を図るとともに、看護学の発展や必要な役割の創造に寄与することができる能力。	看護実践、及び保健・医療・福祉チームと連携・協働するために不可欠な、人間関係の成立・発展に資するコミュニケーション能力。	看護学の専門知識・技能・態度を修得し、アセスメント結果に基づく根拠ある看護を実践する能力。	科学的探究心を備え、看護学に関わる諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決策を提示する能力。	保健・医療・福祉における連携の重要性を理解し、地域の人々の疾病予防、健康・自立に貢献する能力。	
教養に関する科目	人文社会・教育学	1 スタートアップセミナー	◎	○		○		
		1 社会学	◎	○				
		1 人間関係論	◎	◎				
		1 医療倫理	◎		○	◎		
		1 文化人類学	◎					
		1 音楽と健康	○	○				
		1 心理学	○	○				
		1 教育学	○					
	自然科学	4 日本国憲法	○					
		1 環境と健康			○	◎		
		1 食物と健康			○	◎		
		1 薬と健康			○	◎		
		1 情報リテラシー基礎・応用	◎	○				
		4 歯と健康	○		○			
	体育	4 漢方とサプリメント	○		○			
		1 スポーツ		○	○			
	外国語	4 健康とスポーツ			○			
		1 英語Ⅰ・Ⅱ		◎				
		3 英語Ⅲ		◎	○			
		1 中国語		○				
		1 コリア語		○				
1 ロシア語			○					
専門科目に関する授業科目（専門基礎科目）	人間と健康	1 ドイツ語		○				
		1 人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			◎			
		1 疾病の原因と成り立ち			◎			
		1・2 疾病の予防と治療Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			◎			
		1 薬理学と薬剤管理			◎			
		2 感染症と微生物			◎			
		2 栄養学			◎			
		1 医療と看護の歴史	◎		○	○		
	健康と社会環境	1 家族看護学			◎ ※		○ ※	
		1 公衆衛生学			◎		○	
		1 臨床心理学		◎	○			
		2 人間工学			◎	○		
		2 社会保障と法			◎		○	
		2 多職種連携		◎	○	○	◎	
		3 疫学			◎ ※		○ ※	
		1 ケアの基本理念			○			
		1 在宅医療			○		○	
		3 保健医療福祉行政論			○ ※		○ ※	
		3 保健統計学			○ ※		○ ※	
		4 ボランティア論			○		○	
		基礎看護学	1 看護学原論	◎		○		
1 看護の基本技術	◎			○				
1 援助的人間関係論			◎	○				
2 看護倫理学	◎			○				
2 生活支援技術論			○	◎				
2 治療過程支援技術論			○	◎				
2 ヘルスアセスメント演習	◎		○	○				
2 看護過程展開技術演習	○		○	◎	○			
2 生活支援技術演習			○	◎	○			
2 治療過程支援技術演習			○	◎	○			
1 基礎看護学実習Ⅰ	◎		○	◎	○			
2 基礎看護学実習Ⅱ	◎		○	◎	○			

科目区分		配当年次	身につける能力と資質 (DP)	プロフェッショナルリズム	コミュニケーション能力	看護学の知識・技能・態度に基づく看護実践能力	問題発見・解決力	地域社会への貢献力
				看護の役割を理解し、その責務を果たす能力、及び人間性を育む教養と倫理観を備え、生涯にわたり自己研鑽を図るとともに、看護学の発展や必要な役割の創造に寄与することができる能力。	看護実践、及び保健・医療・福祉チームと連携・協働するために不可欠な、人間関係の成立・発展に資するコミュニケーション能力。	看護学の専門知識・技能・態度を修得し、アセスメント結果に基づく根拠ある看護を実践する能力。	科学的探究心を備え、看護学に関わる諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決策を提示する能力。	保健・医療・福祉における連携の重要性を理解し、地域の人々の疾病予防、健康・自立に貢献する能力。
		授業科目						
専門科目に関する授業科目（専門教育科目）	公衆衛生看護学	2	公衆衛生看護学概論			○ ※		○ ※
		3	公衆衛生看護活動論Ⅰ			○ ※		○ ※
		3	公衆衛生看護活動論Ⅱ		○ ※	○ ※		○ ※
		3	公衆衛生看護管理論			○ ※		○ ※
		4	公衆衛生看護政策論			○ ※		○ ※
		3	公衆衛生看護学演習			○ ※		○ ※
		4	公衆衛生看護学実習Ⅰ	◎ ※	○ ※	○ ※	○ ※	○ ※
		4	公衆衛生看護学実習Ⅱ	◎ ※	○ ※	○ ※	○ ※	○ ※
	地域・在宅看護論	1	地域・在宅看護概論	◎ ※		○ ※		◎ ※
		1	地域・在宅看護論		○	◎		◎
		2	地域・在宅看護関係法規	◎ ※		○ ※		◎ ※
		1	地域・在宅看護技術演習		○ ※	◎ ※	○ ※	◎ ※
		2	在宅看護論実習	◎	○	◎	○	◎
		3・4	健康生活自己管理支援実習	◎	○	◎	○	◎
	成人看護学	2	成人看護学概論	◎		○		
		2	健康の慢性的揺らぎのある成人の看護			◎		○
		2	急激な健康破綻をきたした成人の看護			◎		○
		3	成人看護技術演習		○	◎	○	
		3・4	健康の慢性的揺らぎのある成人の看護実習	◎	○	◎	○	
	老年看護学	3・4	急激な健康破綻をきたした成人の看護実習	◎	○	◎	○	
		2	老年看護学概論	◎		○		
		2	老年の疾病と治療			◎		
		2	老年看護学実践論			◎		○
		3	老年看護技術演習		○	◎	○	
	小児看護学	3	老年看護学実習	◎	○	◎	○	○
		2	小児看護学概論	◎		○		
		2	小児の疾病と治療			◎		
		2	小児看護学実践論			◎		○
		3	小児看護技術演習		○	◎	○	
	母性看護学	3・4	小児看護学実習	◎	○	◎	○	
		2	母性看護学概論	◎		○		
		2	女性の疾病と治療			◎		
		2	母性看護学実践論			◎		○
		3	母性看護技術演習		○	◎	○	
	精神看護学	3・4	母性看護学実習	◎	○	◎	○	
		2	精神看護学概論	◎		○		
		2	精神の疾病と治療			◎		
		2	精神看護学実践論			◎		○
		3	精神看護技術演習		○	◎	○	
	看護の統合と課題の探求	3	精神看護学実習	◎	○	◎	○	
		3	チーム医療論	◎	○	○	○	○
		4	チーム医療実習	◎	○	◎	○	
		3	看護管理学	◎		○		○
		4	看護管理学実習	◎	○	◎	○	
		3	看護研究の基礎	○		○	◎	
		3	看護研究演習Ⅰ	○		○	◎	
		4	看護研究演習Ⅱ	◎		○	◎	
		4	災害看護学	○		○	○	◎
		4	国際看護学	○		○	○	◎
		4	看護教育学	○		○	○	
		4	新たな医療と看護の課題	○		○	○	○
		4	新潟の医療と看護の課題	○		○	○	○



- 1.本図は [色コード] で示す5つのディプロマ・ポリシーと科目との関係、カリキュラム進行における順次性・つながりを示しています。
- 2.枠線で囲まれたラベル [色コード] は、ディプロマ・ポリシー達成に特に重要な科目を、枠線のないラベル [色コード] は、ディプロマ・ポリシー達成に重要な科目を表しています。
- 3.黒字は必修科目、茶字は選択科目、緑字は保健師課程科目です。
4. [矢印] は主要科目群の段階的学習を深める流れを示しています。
5. [点線矢印] は特に関連の深い科目の段階的学習の流れを示しています。